兵庫県保険医協会第 47 回総会にご参加ください

- ◇ 6 月 21 日 (日) 13 時 30 分~/チサンホテル神戸(「高速神戸」 駅直給後歩1分)
 - 総会議事 13時30分~ 2 F あじさい
 2014年度会務報告、2015年度活動方針案・予算案、役員選出の承認ほか
 - ·記念講演 15 時 30 分~

新世代ゲノム解析によって変わる医学と医療

国立遺伝学研究所 人類遺伝研究部門 教授 井ノ上逸朗 先生



次世代シーケンサーと称される新世代シーケンシング技術の発展は目覚しいものがあり、ゲノム医学推進の駆動力となり医学・医療を一変させることでしょう。現在の最高機 (HiSeq 2500 (illumina))では1回のランでヒト全ゲノム6人分を同時に解析できます。さらには一人当たりの全ゲノム配列を10万円で解析できるシステムも発表されています。2003年に完全解読がなされたヒトゲノム計画では一人分の全ゲノム配列を決定するのに、10年かつ3000億円かけました。10数年しかたっていませんが、隔世の感があります。さらに高性能のシーケンシング技術が期待されています。現在でも全エクソン配列決定や全ゲノム配列決定による疾患遺伝子解析は加速度的に進んでおり、将来的にはほとんどの遺伝病において原因は判明していることとなるでしょう。

さてシーケンシング技術が医学・医療になにをもたらすのでしょうか。本講演ではいろいろな例をあげて考えていきたいと思います。がんにおける遺伝子変異はかなりわかってきました。遺伝病のみならずありふれた疾患の原因遺伝子も続々と解明されています。腸内細菌叢の違いが肥満など健康と関連することもわかってきました。最近話題になっているのが、新型出生前遺伝子診断です。母体血清には胎児 DNA が 10%前後存在しているので、血清中の DNA を検査することによりダウン症候群を始め多くの遺伝性疾患の診断をおこなうものです。当初危惧されていた精度についても、最新の論文では高い精度となっていることが示されました。同時に命の選別といった問題が懸念されています。ゲノム医学がもたらす光の部分のみでなく倫理的な問題についても最後に議論したいと思います。

《ご路歴・プロフィール》1984年鹿児島大学医学部卒業、88年同学大学院博士課程卒業、89年同学医学部助手、89〜93年ユタ大学ポストドク、同学 ハワードヒューズ医学研究所研究員、人類遺伝学研究員、97年群馬大学生体調節研究所助教授、2000年東京大学医科学研究所客員助教授、06年東海 大学医学部教授、08年同学大学総合医学研究所所長を歴任、2010年から、国立遺伝学研究所教授。医学博士(鹿児島大学1988年)、学会活動等:人類 遺伝学会(評議員)、アメリカ人類遺伝学会、分子生物学会、Journal of Human Genetics (Review Associate Editor)。

◇懇親会		(参加費不要) 具保険医協会	TEL078-3	393-1801	FAX 078-393-18	02 (組織部)
兵庫県保険医協会 第 47 回総会 (6/21) に 総会議事に出席します						
	急講演に参	加します() 人	□懇親会	たに参加します() 人
(役職・	地区) (扫	名前)

1

兵庫県保険医協会 280 号 2015年5月25日 **神戸支部ニュース**

発 行 兵庫県保険医協会神戸支部

連絡先 〒 650-0024 神戸市中央区海岸通 1-2-31 神戸フコク生命海岸通ビル 5F 兵庫県保険医協会 TEL/078-393-1801 FAX/078-393-1802

神戸支部医療安全管理研修会を開催

消毒・滅菌前の洗浄をしっかりと



(左) 82 名が感染対策の重要性について学んだ

(右) 小川氏が器具に応じた感染対策をするようにと解説

協会神戸支部は、5月9日、済生会兵庫県病院の感染管理認定看護師小川麻由美氏を招いて、「洗浄・消毒・滅菌」のテーマで医療安全管理研修会を開催した。医療機関スタッフを中心に82名が参加した。

小川氏は、院内感染を防ぐために、器材の洗浄・消毒・滅菌の重要性を紹介し、それぞれの違いについて説明した。また消毒・滅菌により病原体が完全に除去できると過信するのではなく、最初に洗浄により、器材から異物を取り除いて、病原体の数を減らすことで、消毒・滅菌の

効果を確実なものにできると解説した。 また、それぞれの機器・器材によって必要な感染対策法が異なることを示し、それぞれの医療器材に応じた、洗浄・消毒・滅菌の処理を適宜、確実に行うことが大切だと語った。

神戸支部在宅医療研究会を開催

業者から見た在宅医療の実態について学習

神戸支部は5月16日、協会が在宅酸 素などの販売を委託している、ミヤコ在 宅医療サービス株式会社の第一営業部課 長東野健悟氏を招いて、在宅医療研究会 を行った。6名の医師、医療スタッフが 参加した。

東野氏は、最初に、業者から見た診療 報酬改定後の在宅医療の実態について解 説を行った。2014年の診療報酬改定 により、在宅医療の点数に大きな影響が あったことに触れ、改定による大きな収 入減に対応するために、在宅医療を行っ ている医療機関では、スタッフのリスト ラや、遠方への訪問診療を断らざるを得 なくなったケースも出てきたことが紹介 された。また、在宅酸素が非常に高点数 であるため、支払基金の審査が以前より 厳しくなり、返戻や減点が増加している ことを紹介し、返戻・減点を防ぐために 注意しなければならない点について解説 した。

次に睡眠時無呼吸症候群(SAS)につ いての検査について、在宅でも終夜睡眠 検査(フル PSG)が可能になったことを 紹介。病院ではなく自宅での測定のため、



講師の(株)ミヤコ在宅医療サービス東野健悟氏

患者さんが過度に緊張することなく測定 を行えるなどのメリットについて説明し ten

参加者からは、CPAP を用いての SAS の治療について、治療を途中でドロップ アウトする患者が多い理由について質問 が出された。これに対し、東野氏は、鼻 への装着による圧迫感により入眠が難し くなっているという声が患者さんから挙 げられていることを紹介し、診察の際に、 医師が患者さんに対して過度なプレッ シャーをかけないようにすることで、治 療を長く続けることができるのではない かと意見を述べた。

お知り合いの先生をご紹介ください

協会は4月1日から6月30日までを春の組織強化月間・共済普及期間として活動します。 お知り合いの先生やご子息・ご親族など、まだ協会にご入会でない先生がいらっしゃいま したら、ぜひご紹介やお声かけにご協力ください。

お問い合わせは協会組織部(TEL: 078-393-1817)ま

第87回評議員会が開催

社会保障を守る運動にいっそう取り組むう



94 人が出席した評議員会(左)で発言する住友直幹評議員(右)

協会は5月17日に第87回評議員会を開催し、評議員ら94人が参加した。役員改 選では、池内春樹理事長が勇退し、新理事長に西山裕康副理事長を選出した。特別講 演として「報道現場から見た安倍政権」をテーマとし、TBS執行役員で『報道特集』 のメインキャスターを務める金平茂紀氏が特別講演を行った。神戸支部からは、住友 直幹評議員が発言した。

住友評議員は、関電神戸支店前での反 原発行動が、先日150回目を迎えたこ とを報告。現在の安倍内閣が計画してい る再稼働推進政策に対し、市民から反対 する運動が3年間続いていることを紹 介し、協会も積極的に取り組んでほしい と発言した。

特別講演では、TBSの老舗番組『報 道特集』のメインキャスターの金平茂紀 氏が、報道現場の最前線から見た安倍政 権とメディアの問題点について語った。 金平氏は、戦時中の「大本営」に見られ るような政府の偽りの発表に対し、絶え ず監視を行うこと、少数者の視点を大切 にし、多様な意見を確保することが、本 来のメディアの大切な役割であると解



メディアの役割について語る金平茂紀氏

説。また、自民党が NHK と、テレビ朝 日に対して、事情聴取を行ったことにも 触れ、政府・与党のメディアへの統制が 露骨になっていることについて警鐘を鳴 らした。